

## 避難訓練を行いました

日本は災害の多い国世界第5位となっており、特に地震や水害が多い国です。今年の夏も豪雨による被害が日本各地で起こり、災害に見舞われました。今、自分の命を自分で守る「自助」の教育・訓練がなお一層重要になってきています。今回学校では、地震発生を想定した避難訓練を実施しました。2018年の統計では、マグニチュード6以上の地震の約20%が日本で発生しており、もしもの時のことを考えて、「震度4の地震、余震の可能性あり」という想定で行いました。生徒はサイレンの音を聞いて素早く行動し、自分の身を守る姿勢をとりました。オープンスペースにいた生徒は落下物に備え中央に集まって頭を守る姿勢で身を低くしました。教室にいた生徒は机の下に潜り揺れが収まるまで待ちました。私語をすることなく真剣に行い、本番さながらの良い訓練であったと思います。緑園中生の何事にもまじめに取り組む姿勢が大変立派でした。



## 第1学年で防災学習が行われました

緑園中では、総合的な学習の時間で「防災学習」も行っています。

1年生は、地域防災まち歩き

(校区を歩き、身近に潜む危険について考えます)

2年生は、避難所設営体験

(実際に避難所で使用される段ボールをつかって行います)

3年生は、避難所運営

(避難所運営ゲームHUGを使用して行います)

9月15日に、清々しい秋晴れの元、1年生の防災学習が行われました。緑園中学校を出発し、帯広川沿いと、西20条通りを歩きました。約5.2kmの道のりをチェックポイントでじっくり周辺の様子を確認しながら、危険と思われる所を見つけたり、川に設置してある設備がどんなことに役立っているのかを考えたりしました。帯広川にかかっている伏古橋には、今でも平成28年に十勝を襲った台風10号の跡が残っています。今回の学習を通して、いつ何時起こるかもし



れない災害に備える必要性を感じたところです。学校に戻ってきてから、まち歩きをして気付いたことや感じたこと、考えたことなどを、1年1組の本多さん・大嶋さん、1年2組の高畑さん、1年3組の管野さんの4名が発表しました。自分の言葉で表現する姿を見て、学習の深まりを感じることができました。その後行われた学習の振り返りの中から、一部を抜粋して紹介します。

1年1組の小松奈々華さん：川には工夫がされていて、水を別の川に分けて住宅街の浸水を防いでいることを知りました。

1年1組の甲山創心さん：学校の前は木が多く、台風などの自然災害時には木が倒れたりして危ないことがわかりました。

1年2組の八田和奏さん：栄森橋の近くにはカメラがあり、もし浸水などが起きたときには水位などがわかるようにしてありました。

1年2組の白澤脩さん：日本は災害の多い国で災害はいつ起こるかわからないということを頭にに入れて、しっかり備えておくことが大事だと思いました。

1年3組の橋井蓮さん：川が氾濫したり、家が流されたりしている写真を見て、十勝でもいろいろなことが起きていることがわかりました。

1年3組の佐藤栞音さん：伏古橋の下はデコボコしていて、過去水位が高かったときの跡がありました。2m以上あったと思います。危険だと思いました。

どの振り返りも真剣に取り組んだことのわかるものでした。防災について、ご家庭でも話題にしていたら幸いです。

## 第15回花の絵コンテスト大賞に吉川さん！（美術イラスト同好会）

第15回花の絵コンテスト（アートロード商店街ウィンドギャラリー活用実行委員会主催）で、150点を越える作品の中から吉川桃子さん（3年3組）が大賞に選ばれ、五十嵐日南さん（3年3組）の作品が準大賞に選ばれました。おめでとうございます。日頃の活動の成果が現れ、大変うれしく思います。その他、アートロード商店賞を高橋心寧さん（3年2組）、藤代恵さん（2年3組）が受賞しました。



準大賞  
五十嵐  
日南  
「百日草」



大  
吉川  
賞  
桃子  
「川沿いの春」